



新 年 号

発 行 所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人 茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉 梨 衛
印刷所
富士オフセット印刷(株)
1部 15円
(購読料は年会費に含まれています)



年頭に寄せて

公益財団法人
茨城県消防協会 会長 葉 梨 衛

平成二十八年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで祝辞を申し上げます。

消防団員・消防職員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務に精励されておりますことにに対し、心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

また、消防関係諸団体の皆様方には、消防防災に対する深いご理解のもと、熱心にご活動されていることに対し、深甚なる敬意を表する次第であります。

我が国の消防は、戦後、地域に密着した自治体消防として発足して以来、関係者の並々ならぬご努力によりまして、組織・設備の両面において着々と充実強化されておりますことは、誠に同慶の至りでございます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲に

わたり、さまざまな場面で地域住民の安全・安心確保に大きな役割を果たしているところでございます。

しかしながら、昨年九月に本県にも甚大な被害をもたらした関東・東北豪雨をはじめとした自然災害や、一向に減ることのない火災に対し、地域住民の安全・安心に対する意識が益々高まってきており、消防の責務も一段と重要性を増しております。

また、いつ発生するか予測のつかない災害から被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、そのためには、消防団が中核的な役割を果たしながら、住民や企業・団体などが一層連携し、地域の総力を結集して地域防災力の充実強化を目指す必要があると考えております。

本協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の『安全・安心の確保』のため、今後とも各種

事業を積極的に推進して参る所存でございます。

特に、平成十九年度の理事会・評議員会で決議いたしました「女性消防団の結成促進に向けた取り組み」につきましまして、各消防団長さんをはじめ、関係者の皆様の熱意とご努力により、着々と実績を上げてきており、結成団は昨年十月現在で県内四十四消防団中三十八団を数え



新年のご挨拶

茨城県知事 橋本 昌

平成二十八年の新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、本県の消防防災行政の推進に大変なご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、先月二十九日に開催した「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」には、消防関係者の皆様に多数ご参加いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は九月に関東・東北豪雨災害が発生し、本県では三名の尊い命が失われまるとともに、住宅や農地などに甚大な被害が発生いたしました。

亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

るまでになり、今後も発足の動きが見られます。

どうか皆様におかれましても、心新たに「安全な地域づくり」のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

この度の災害では、浸水範囲が極めて広範囲に及ぶ中、自衛隊、警察、海上保安庁そして消防関係の皆様方には、昼夜を分かたず、救助活動や避難誘導、捜索活動等、多岐にわたりご尽力いただいたところであり、改めて感謝申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

県といたしましても、発災直後から、常総市内に県の現地災害対策本部や災害ボランティアセンターを設置しますとともに、被災した道路や河川施設、農業用施設の復旧などに全力で取り組んでまいりました。

また、昨年末から義援金の配分を開始しますとともに、住宅の応急修理や農業用機械の修繕、中小企業の設備等の購入費用等について新たな支援策を講じるな

ど、県庁をあげて被災者の支援に取り組んでまいりました。

さらに、先月には、国、県及び鬼怒川流域の七市町が主体となり、ハード・ソフト一体となった総額約六百億円の緊急的な治水対策である「鬼怒川緊急対策プロジェクト」の着手式が開催されたところであり、引き続き、災害からの早期復旧と復興に全力を注いでまいります。

近年、災害が大規模化・複雑化する中、昨年も、全国各地で大規模な自然災害が相次いで発生し、また、今後は首都直下地震の発生なども危惧される中、消防関係者の皆様方には地域防災の要として、これまで以上に大きな期待が寄せられております。

県では、これまで、市町が共同で行う消防救急無線のデジタル化やいばらき消防指令センターの整備を支援しますとともに、来年度の運用開始に向けて「防災情報ネットワークシステム」の再整備を進めております。

また、平成二十五年十二月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を踏まえ、若者や女性、公務員などの入団促進、団員の処遇改善など、減少傾向にある消防団員の確保に力を注ぎますとともに、市町村が行う消防団の安全装備品の配備を支援しております。

皆様方におかれましては、年頭にあたり、消防人としての使命とその職務の重要性を改めて認識され、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、新年のあいさついたします。

平成二十八年 消防出初式

新春を飾る消防出初式が、一月九日から十一日までの三日間を中心に県内各地で挙行されました。今回は、常陸太田市、つくば市及び笠間市消防出初式の様子をスナップ写真でご紹介いたします。



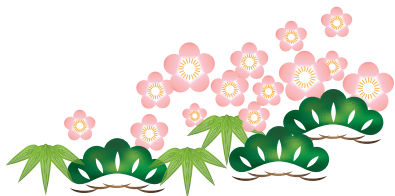
常陸太田市 (1/9)



笠間市 (1/11)



つくば市 (1/11)



平成二十七年 支部別消防団長等 懇談会を開催

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南北部支部、年明け一月から残る五支部で順次開催されました。

出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防主任並びに県から消防安全課長、消防学校長及び同職員、協会事務局です。

(開催日程)

○県南北部支部 五市

平成二十七年十二月十五日

かすみがうら市消防本部

○県南南部支部 九市町村

平成二十八年一月十五日

守谷消防署

○県北支部 九市町村

平成二十八年一月二十日

ひたちなか・東海消防本部

○県央支部 六市町

平成二十八年一月二十二日

笠間市消防本部

○県西支部 十市町

平成二十八年二月五日

下妻市八幡屋

○鹿行支部 五市

平成二十八年二月十二日

鹿嶋市役所

議題

(一) 消防団員の確保

(二) 全国消防操法大会茨城県代表の選考会

懇談会は、消防安全課から消防団員の確保及び全国消防操法大会茨城県代表の選考会について、県立消防学校から消防学校の教育訓練計画について、消防協会から、消防ポンプ操法競技大会地区大会の開催日、平成二十八年度消防団長研修会、平成二十八年度日本消防協会主要行事及び同協会の火災共済及び個人年金等について説明がありました。

いずれの会場でも、限られた時間の中で有意義な情報交換が出来たものと思われま



日本消防協会主催 消防団幹部特別研修

日本消防協会主催による第四十二回消防団幹部特別研修が実施され、本県からは神栖市消防団の金本吉明副団長が参加されました。

ここに、金本副団長からの寄稿文をご紹介します。

「消防団幹部特別研修」に参加して

神栖市消防団

副団長 金本吉明



去る、平成二十八年一月十二日～十五日の四日間、日本消防協会主催の第四十二回消防団幹部特別研修に茨城県代表として参加させていただきました。

全国四十七都道府県の消防団幹部の方々が集結して研修する事に対し、県代表としての責任感と、この研修に参加できる感謝の気持ちを持って望みました。

日程が決まってからも、全国の消防団代表の皆様と話しのできる場に参加できる事が、待ち遠しくなりませんでした。

この研修の目的は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種教養を行い、消防団の指導者を養成する研修であります。

初日は開講式で始まり、日本消防協会秋本敏文会長より「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立後、これからの消防団に対して問われるものは何か、消防団活動の充実と装備の強化、そして「どのような事態があっても、被害を最小限度にとどめ、生命は必ず守る事とする為、一人ひとりが自らを守ると同時に、みんながそれぞれの力を発揮して協力する事」と講話をいただき、消防人として最大限の力で消火活動にあたる事を自分自身再確認しました。その後の意見交換会では、研修生全員が秋本会長や佐々木消防庁長官、協会関係者の方々と懇親を深め、楽しく談話できました。

二日目は、消防庁危機管理センターを視察し、消防行政と防災対策の講話を受け、その後、聖路加国際病院 日野原理事長より日本の救急医療の問題点をテーマとした講話をいただきました。日野原先生は百四歳とお聞きし、元氣いっぱい講話をした事に驚きました。

三日目は、災害情報学、惨事ストレス

対策、消防団実務、火災防ぎよについての講話を受け、東京消防庁第二消防方面本部消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー隊)の視察では、最新鋭の車両を使った消火、救助訓練での機敏な動作や無駄のない動き、今まで見た事のない資機材や車両等を見学し、とても感動しました。

四日目最終日は、消防団活動事例として長野県白馬村消防団 横山義彦団長より講話をいただき、平成二十六年十一月二十二日に発生した震災時の体験談や消防団活動の記録写真等を見ながら貴重なお話を拝聴しました。

今回の研修に参加して、全国どここの消防団も様々な問題を抱えながら日々努力し、活動している事を感じました。特に団員の確保対策は深刻な状況であり、高知県の赤バイク隊などは、魅力ある消防団として入団促進につながる一つの手段であると思いました。このような研修に数多くの消防団員が参加され、消防人としてのあり方を学ぶことにより、私が思っている「ハイパー消防団」になれると思います。

今後は、この研修において学んだ事を生かし、消防団幹部として、後輩幹部や団員に少しでも指導でき、「カッコいい消防団」を目指す努力をしてみたいと思います。そして、消防防災の関係機関との連携を深め、災害に強いまちづくりを目指し、地域住民の生命・財産を守るため、消防活動に邁進する所存であります。

最後に、茨城県代表として研修に参加させていただきました関係各位の皆様には深く感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会in茨城2016」を開催

消防庁、茨城県、つくば市及び当協会の主催により平成二十八年一月二十九日(金)につくば国際会議場において、約一千百名の参加者のもと、表記大会が開催されました。県内外から足を運んでくださいました皆様方に改めまして御礼申し上げます。

大会は、オープニングで「つくば市消防音楽隊」に素晴らしい演奏を披露して頂いた後、開会となり、日本消防協会の秋本会長の基調講演に始まり、石川県、高知県及び千葉県の発表者から、それぞれの立場での地域防災への取り組みについて発表して頂きました。

また、本県からは、つくば市女性消防団員及び水戸市女性防火クラブ連合会の松本会長から火災予防啓発劇や活動事例の発表、茨城県医師会の海老原常任理事及び常総市消防団の吉田分団長からは、昨年九月の「関東・東北豪雨」における活動事例発表がありました。

さらに、この水害で常総市は甚大な被害を受けましたが、常総市出身で女優の羽田美智子さんから、自身のボランティア活動を盛り込んだお話をいただき、講評として防災&情報研究所の高梨様から総括コメントをいただきました。

最後に、葉梨茨城県消防協会会長から「大会を通じて、地域の安心・安全の確保には、住民、事業者、自主防災組織、消防団、行政等が一層連携していくことが重要であることを再認識でき、また、大会開催にあたって、百十六もの幅広い

団体の皆さんにご賛同いただき、大変心強く感じている。」旨の閉会の挨拶があり大会終了となりました。
今大会では、限られた時間の中での発表でしたが、この大会を契機にさらなる地域防災力強化の必要性が、幅広い方々に理解されることをご祈念申し上げます。

編集後記

今年も協会の行事等にご協力とご理解を頂きながら進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

皆様からの寄稿文や様々な情報を心よりお待ちしております。また、広告掲載を募集しております(掲載料・掲載一回税込み五千四百円、掲載サイズについては誌面四頁の掲載広告を参照して下さい)。是非、ご連絡ください。(き)



オリジナルTシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

茨城県ヤスコット
ハッセル横門

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚 1-1-2

TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材



茨城県代理店
有限会社 鈴 機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

本 社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614 (代表)
FAX.029-224-4613
千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636 (代表)
FAX.029-244-0540
土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498 (代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型 消防 ポンプ



V75ESからV10Fまで
豊富な機種でお客さまのご要望に
お応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店

トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029 (224) 3324(代) FAX.029 (224) 3360